



VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

イーキン・インとのクリエイテ
ィブなコラボレーション

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タ
イム (コンセプトウォッチ)
エジェリー・ムーンフェイス

時計愛好家のためのタイムピース

2024年4月9日

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

ヴァシュロン・コンスタンタンと優れた才能をもち「One of Not Many」の一員であるイーキン・インとのコラボレーションから、2つの創造性溢れる作品が誕生しました。ひとつは高級時計製造、オートクチュール、パフュームを組み合わせたコンセプトウォッチで、もう一つは個別番号とイーキン・インの名がケースバックに刻印された、100本限定の生産モデルです。

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

- ダイヤモンドがセッティングされたピンクゴールドのケース、「プリーツ」模様が施されたライラック色のマザーオブパールのダイヤル、繊細な刺繍とマザーオブパールの小片が織り込まれオートクチュールの風格を醸す独創的なストラップを備えた、オブジェとしてのタイムピースを超越し、まるで時を止めるかのような経験を提供する作品。
- 革新的な構想のタイムピース：イーキン・インは、ストラップに包み込まれ、手首の動きによってランダムに放たれる専用の香りの創作を、熟練調香師ドミニク・ロピオンに依頼しました。

エジェリー・ムーンフェイス

- イーキン・インの創造性溢れる世界観を体現したダイヤルのデザイン
- このオートクチュールデザイナーによって生み出された3本のインターチェンジブルストラップ


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

高級時計製造、オートクチュール、パフュームの融合

「One of Not Many」な創作

そのスタイルと創作アイデアにより、他に類を見ない作品が誕生しました。このエジェリーコンセプトウォッチは、ヴァシュロン・コンスタンタンと優れた才能を持つ「One of Not Many」の一員、イーキン・インとの芸術的なコラボレーションから生まれました。

洗練さへの追求により繋がり、共通の洗練さへの追求と卓越へのビジョンを持った、マニュファクチュールとこのオートクチュールデザイナーが協力して、エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイムのコンセプトウォッチを創作しました。このタイムピースは、高級時計製造、オートクチュール、パフューム、3つの異なった世界観の間で生まれた対話を融合しました。37mmのピンクゴールドのケースの豊かな曲線は、ダイヤモンドにより際立っています。ライラック色のダイヤル「プリーツ」模様、2時位置のムーンフェイスとリュウズと斜め延長線上8時位置にヴァシュロン・コンスタンタンのロゴを対角線上に配置、メゾンが大切にしている非対称性を表現しています。そして、イーキン・インが感覚を呼び起こす美的特徴を吹き込み、洗練し独創的な女性らしいフォルムが生まれました。またメゾンとこのオートクチュールデザイナーは、タイムピースのストラップに組み込まれた、独自の香りの創作を、フランス人熟練調香師ドミニク・ロピオンに依頼しました。



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

オブジェを超える感覚的な経験

「エジェリー」コレクションは、イーキン・インの導きのもと、このオートクチュールデザイナーの至純な世界観で満たされた独自の美学を通して、その個性の新たな一面を披露します。

インデックスを取り除いたダイヤルにより、より直感的に感情を掻き立てる方法で、「時」を感じ取ることができます。マザーオブパールのダイヤルは、2つの異なったリズムを刻む「プリーツ」模様が施されます。ゴールドのパールで縁どりされたダイヤル中央の外側には、そのひだとくぼみがさらなる広がりを感じさせます。イーキン・インは、「はかない白昼夢のような、女性らしく繊細な色合い」のやわらかなライラック色を選びました。マザーオブパールで形作られたムーンフェイスにもこの彩が添えられます。きわめてスリムな時・分・秒針が時を刻みながら上を通り過ぎるこのコンプリケーションは、ダイヤモンドの縁取りで一層美しさが際立ちます。

イーキン・インは、高度な刺繍芸術により飾られる独自のストラップのために、シルクの糸の間にマザーオブパールの小片を組み入れることを考えました。「この作品は、蛇皮の繊細さと抽象的なレースのエlegantさの間を美しい曲線を描きながら、自然の風景の中を流れる小川のしなやかな流れを表現しています。ストラップを飾る不規則な美しさは、人間の手で作られ、ダイヤルの純粹なフォルムとの視覚的な対話を生みます。」と、本人はコメントしています。このタイムピースの個性を構成する、見えないが不可欠である香りは、熟練調香師ドミニク・ロピオンにより創作され、ストラップに組み込まれています。



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

革新的なパフューム

このコンセプトウォッチのために特別に創作された香りは、熟練調香師とクリエイターが多くの意見交換を重ねて完成されました。「ドミニクは、感情を操る錬金術師です。唯一無二の知覚と時の経験を提供する時計を創作することが、私たちの当初の考えでした。」とイーキン・インは語ります。感情と調香レシピを融合させるための創作やアイデア模索の話合いを多数重ねて、エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイムのこのコンセプトウォッチを体現する香りに到達することができました。

「時のような普通の香りの創作。それは、パステルと冬の清らかさを添え、パウダーのようで多様なニュアンス、まるで太陽とゆったりとした煙が戯れるような無機質な香り。」とドミニク・ロピオンは表現します。

この香りは、イーキン・インの考えと呼応し、多様な原材料が厳密に組み合わせられます。オゾンノートとガルバナムから構成されるミネラルとマリンの調和、ラベンダー、オレンジフラワー、ハニーサックルとイモートルの一種の調和をベースとした冬の清らかさ、チュペローズとイランイランによる複雑なニュアンス、香水瓶のなかの太陽の輝きとなるオレンジとレモン、過ぎ行く時を表現する香り(オリバナム、ミルラ、オポボナックス)とウッドなどです。

香りが決まったら、それをカプセルで包みストラップに組み込み、「呼吸をするために時の経過を受け入れ、感嘆する鋭い感受性を持つ」ことであるとイーキン・インは語ります。

これを実現するためには、革新的な開発過程を必要としました。香りを凝縮した微小なしずくは、カプセルに封じ込められます。ストラップの各構成部品(ライナー、ストラップループ、刺繍など)は、これらのカプセルで浸されます。これらのナノカプセルに含まれるフレグランスの香りは、ストラップと肌の摩擦と手首の動きに応じてランダムに放たれます。


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

体験を押し広げる装い

エジェリーのこのコンセプトウォッチに寄り添うため、イーキン・インはその精神に呼応するオートクチュールのドレスを創作しました。「軽やかな生地が体に巻き付くように曲線を描き、超自然的な色合いの旋回するプリーツ模様が貴重なものを形作る、ダイヤルの輝く光の反射を想起させます。体と調和するこの波打つシルエットは、時の中を漂うような柔軟性により、着用者の動きと様々な部分へのやさしい接触を結びつけます。放射状のプリーツスカートの変化する立体感は、シルクシフォンまで広がる虹色に輝くサテンの流れを織りなし、透明感と今の瞬間の美しさを捉えるシルクの変化のある輝きを作り上げています。様々な要素の活力からインスピレーションを得たこの作品は、無限が流れるようにエレガンスと反映する動きが作る美を讃えています。」と彼女は語ります。

繊維や織物における最新のテクノロジーを用いて、イーキン・インは環境に配慮したナノ染料による手染めにより、繊維と布地にグラデーションを施した光輪のように鉱物の粉末を浸し、高級時計製造、オートクチュール、パフュームの美的特徴を結びつけながら、特別にあつらえて作ったこのドレスに独特の外観を与えています。


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE





エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

ジョイント・インタビュー

イーキン・イン、オートクチュールデザイナーおよびヴァシュロン・コンスタンタンの優れた才能を備える「One of Not Many」の一人
サンドリン・ドンギー、ヴァシュロン・コンスタンタン、プロダクト&イノベーションディレクター
ドミニク・ロピオン、熟練調香師、IFF(International Flavors & Fragrances)

サンドリン、ドンギー、貴方が「One of Not Many」のタレントとコラボレーションを発表するのは今回が初めてですね。いかがでしたか？

イーキン・インとのコラボレーションは、自然な成り行きで整い、非常に豊かな経験となりました。コレクションが2020年の誕生以来、オートクチュールの世界観から着想を得ているだけでなく、彼女が当初からオートクチュールを見事に体現してきたからです。構想に用いるノウハウとともに、それが象徴するものによっても他に類を見ない作品を創作するという大きな希望を共有して以来、イーキン・インは直ちにこのプロジェクトの重要な立役者となり取り組みました。フレグランスのタッチを備えプリーツ模様がダブルで施されたライラック色のマザーオパールダイヤル、マザーオパールの小片が編み込まれたストラップのレースなど、すべてのディテールが協力して想像されました。イーキン・インは、自身の作品と呼応する究極のオートクチュールの外観をもたらしながらも、「エジェリー」コレクションの個性を守ることに成功しました。これにより、共通の価値、そしてともに追求する美しさ、夢、洗練さにより結びついた3つの世界観の完璧な均衡を備える作品が完成しました。

イーキン・イン、このコラボレーションを通して何を表現しようと思われましたか？

高級時計製造の厳格な世界観の中に、私の直感的な創造性を吹き込み、時間から解放された感情を掻き立てる作品を作ることを目指しました。オートクチュールのデザイナーとして、柔軟な形状と対話しながら、動きのある外観により語りかけることを基礎とした私の芸術プロセスとの接点を模索する際に、時計製造における今まで経験したことのない技術的な制限に直面しました。計測される直線的な時を超越し、ダイヤルをきわめてシンプルにすることで、诗情あふれるムーンフェイスとそれが伝えるより直感的な精神状態に導かれた夢想的な知覚経験を提案したかったのです。ダイヤルの簡素化は不可欠であり、タイムピースとドレスともに備えるプリーツ模様により体現される躍動感、呼吸、柔軟さ、可能性を備える空間となります。そして、元来平面的なダイヤルは、自由と表現の象徴となり、掻き立てられる感情と時の感覚を表現します。夢想的な創作の世界では、限らない時空間の無重力の中でプリーツが無限に広がり、私が伝えたかった時の寛大な力強さを表現することができるのです。



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

ドミニク、この香りの創作にあたり、どのようなアプローチをしたのですか？またこの香りを構成するさまざまな成分を通して、何を伝えたかったのか教えてください。

イーキン・インとの話し合いを重ね、私たちは「時」をどのように香りで解釈するかを考えました。イーキン・インは、潮の満ち引きのサイクル、彼女の作品であるプリーツの特性、私たちを心地よく照らし一日のリズムを刻んでくれる太陽、アメジスト、時の色について語ってくれました。私は、これらのアイデアを解釈した1つの香りの表現を選びました。時を香りのノートで表現することは大きなかけであり、きわめて複雑でありながらも私を魅了しました。イーキン・インとは2010年から一緒に仕事をしており、彼女の徹底した細部へのこだわりは、私のそれに通じるものがあります。私たちは一緒に最初の数十種類の原材料を試しに匂って、ひとつの香りに「時」を捕らえようとしてきました。「時」は香料製作において重要な役割を果たします。「時」は私たちが使用する花や自然の原材料を導く季節のリズムを刻み、古代から燃される香は常に調香師のパレットの一部を構成し、フ香りの拡散の時間、トップ、ミドル、ベースのノートの進化にかかる時間なども大切です。

サンドリン、ヴァシュロン・コンスタンタンの伝統の中で、革新はどのように位置づけられているのでしょうか？

ヴァシュロン・コンスタンタンの長い歴史を通してイノベーションは、前例のない独創的なエレガントな外観を守りながらも、精度の限界を押し広げるその創造性の中心にありました。この技術革新なくして、1755年の創業以来、絶え間なくビジネスを続けていくことは不可能であり、メゾンの豊かなアーカイブがそれを立証しています。長い歴史の中で、ヴァシュロン・コンスタンタンの時計製造における革新的技術の多くは特許を取得し、保護されてきました。この意味においては、イーキン・インとのコラボレーションは、すべての面において革新的で、メゾンの精神に引き継ぎ記されることとなるでしょう。


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

イーキン・イン、技術革新はあなたが優先するもののひとつですか？

私の創作過程において、指針としての実験を常に行っています。そこでは、様々な世界観を組み合わせたり、異なった表現分野を重ね衝撃を生み出すこともあります。私は、自身が精通していない分野の人とのコラボレーションを好み、確立した技術を疑問視することが可能な研究所のように、特にオートクチュールの創作をしています。私にとって知識やノウハウは、異なった用途を持ったツールであり、私たちは各々自身の技術と感情における言語を持っています。創造性の重要なポイントは、リスクを取り自身の快適ゾーンから抜け出し、常に新たなものを作り出すことであると確信しています。未知の世界を発見するためには、模索する時間がかかります。

ドミニク、香りと「時」の概念の間で、香水産業と時計製造業にどのような繋がりを感じますか？

香水製造と「時」はともに、はかなく目には見えず、そして歴史を刻んできたという共通点があります。何年も前に香ったのに認識できる香りは、時を超越するこの特異な能力により、長い間埋もれていた記憶を蘇らせます。香りというこの希少なツールを上手く操り、特別な思い出を時の中に刻むことができることを光榮に思います。


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

サンドリン、このコンセプトウォッチは、イーキン・インとのコラボレーションで作られたのですが、香りの選定には彼女も参加したのですか？

はい。ヴァシュロン・コンスタンタンは、2020年から「One of Not Many」のタレントの一人であるイーキン・インの芸術的世界観を共有してきました。今年、メゾンは高級時計製造とオートクチュールの2つの世界に、3つめの要素である香水製造を加えることにしました。2021年に、イーキン・インはドバイ万博のためにMinima Naturalia olfactorをコンセプトにしたドレスを、フランス館の常設展示のために製作しました。この時、彼女は調香師の巨匠ドミニク・ロピオンと共同で香りを創作しました。このことが、彼女の革新的な香りの創造を、ドレスから時計のストラップへ発展させるというアイデアに繋がりました。このコンセプトウォッチのための香りは、ドミニク・ロピオンとイーキン・インのコラボレーションによって特別に創作されたのです。

サンドリン、香水のナノカプセルを時計のストラップへ組み込むために、どのような新しい技術が用いられたのでしょうか？そのために苦労したことはありますか？

時計のストラップにナノカプセルの香水を組み込むために、私たちはナノカプセル化を専門とする、フランスの会社と提携しました。真珠層を除くストラップの構成部品の中心部に、香水の濃縮液滴をカプセル化しました。「呼吸し、驚きを受け入れるために、時間の経過を受け入れる」とイーキン・イン指摘します。ナノテクノロジーによって、香りはストラップが肌に触れたり、手首を動かすことで、ランダムに放出されます。課題はイーキン・インの繊細な刺繍のようなストラップの表面にナノカプセルを組み込むことでした。

サンドリン、香りはどのくらい持続するのでしょうか？

香りの持続時間は、ストラップの使用頻度によって変わります。手首の動きで香りは放出されますが、もし、ブレスレットを使わずにいれば、香りは長持ちするかもしれません。



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

エジェリー・ムーンフェイス

イーキン・インとの創造性溢れるコラボレーション

オートクチュールの洗練さとヴァシュロン・コンスタンタンが継承する審美性からインスピレーションを得た「エジェリー」コレクションに、オートクチュールデザイナーであるイーキン・インとともにあらたに100本限定で生産したエジェリー・ムーンフェイスが登場します。3本の付け替え可能なストラップから選択できるこのモデルは、ベゼルにジュムセッティングが施されてピンクゴールドの37mmケースを備え、このコレクションのデザインコードを守った色合いを採用しています。マザーオブパールのダイヤルは、なめらかまたはプリーツ模様を組み合わせ装飾され、ムーンフェイスはリュウズとともにメゾンのロゴと斜めの線を描いて配されます。

前例のない創造的なコラボレーション

2020年の誕生以来、「エジェリー」コレクションは、女性のために捧げられた高級時計製造の世界観の中で、そのフォルムをはっきりと主張しています。独自のデザインコードに、新次元の創造性を組み合わせ、イーキン・インとのプロジェクトが完成し、新しいエジェリー・ムーンフェイスが誕生しました。

彼女のエフォートレスな魅力で知られる特徴は、繊細なプリーツによる構造的なシルエットやぼやかされたライン、中央にプリーツ模様が施されたマザーオブパールのダイヤル上で表現されました。その色合いは、モーヴ(薄く灰色がかった青みの強い紫色)、優しいライラックやパープルのモアレで覆われる彼女の作品で表現されるイーキン・インのスタイルを想起させます。パステルカラー3色の付け替え可能なストラップを選んだイーキン・インは、「これらのはかない女性らしい色合いは、白昼夢を体現しています。」と語ります。



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

100本限定生産

優しさ、白昼夢、エレガンス、これらの言葉は、イーキン・インの作品とエジェリー・ムーンフェイスに共通しています。優しさは、なめらかな表面とプリーツ模様がコントラストを描くライラック色のマザーオブパールダイヤルで表現され、コレクション発表時のエジェリーのタイムピースを想起させます。きわめて繊細であるマザーオブパールには緻密な作業が施され、プリーツ模様はひとつずつ手作業で配されたピンクゴールドの小さなパールで縁取りされています。白昼夢を見させるムーンフェイスも、ライラック色のマザーオブパールで飾られ、ダイヤモンドで縁取りが施されています。エレガンスはタイムピース全体に溢れており、周囲のダイヤモンドにより際立ったピンクゴールドの37mmケース、裁縫針をも思わせるスリムな針、「エジェリー」コレクション特有の非対称性(2時位置のリュウズ、ムーンフェイス、8時位置のメゾンのロゴが斜めの延長線上に並ぶ)により際立っています。

ケースバックから鑑賞できる自社キャリバー1088 Lは、高い精度で時を刻み、手作業によりコート・ド・ジュネーブ仕上げが施され、マルタ十字を模ったオープンワークが施された22Kゴールドのローターを備えています。

この高級時計製造のシグネチャは、イーキン・インのそれと呼応し、非常に希少な100本限定生産の個別番号とともにケースバックに彼女の名前が刻まれています。

多様な喜びを与えるタイムピース

エジェリー・ムーンフェイスの多機能性は、コレクション発表時から採用されているインターチェンジャブルシステムを搭載。ストラップはエレガントな同系色のライラック色のアリゲーターストラップ、サテン仕上げのミッドナイトブルーそしてグレイン仕上げのパウダーピンクのカーフスキンストラップが付属されます。簡単に付け替え可能なこれらのストラップにより、テクスチャーやコントラストの変化をシーンによってお楽しみいただけます。


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス

VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

サンドリン・ドンギーへのインタビュー ヴァシュロン・コンスタンタン、プロダクト&イノベーションディレクター

エジェリー・コレクションは2020年に誕生しましたが、なぜ女性に捧げるコレクションの創作をこの年まで待ったのですか？

女性は、私たちの歴史には欠かせない、常に重要な存在でした。18世紀の変わり目には、それを示す美しいコンプリケーション搭載懐中時計が数例あり、エナメル、彫金、貴石で豊かに飾られたこのチャイム時計もそのひとつです。19世紀末からヴァシュロン・コンスタンタンは、女性のために最初の腕時計を製作します。その後、20世紀を通して、メゾンは女性顧客のために、並外れた創造性を発揮します。その流れを受け継ぐのがエジェリーです。もちろん、メゾンの大胆な特徴のひとつでもある、一風変わった、または、オフセットの表示はコレクションの中に用いられています。

「One of Not Many」キャンペーンの優れた才能のひとりと作品を創作する最初のコラボレーションは、どのように進みましたか？

イーキン・インが時計製造技術による制限について馴染みがないことが、このコラボレーションを非常に豊かなものにしました。まったくの白紙からのスタートでなく、彼女は自身の洗練された世界観をタイムピースの中に組み入れることに成功しました。自身のコレクションと創作を通して、プリーツの動きを探究し、動きの中でも構造や立体感を想像し、無の空間を形作り、均衡点とともに、浮かんで動く部分と形作られた部分の境界を追求しました。エジェリー・ムーンフェイスのダイヤルを近くで見ると、共通した審美性がはっきりと見て取れます。濃淡の複雑な反射を生むの明るい色のマザーオブパールが選ばれ、イーキン・インの作品に用いられるパステルの色合いを想起させます。



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

幾何学から芸術性へ® : ヴァシュロン・コンスタンタンの年間テーマ

ヴァシュロン・コンスタンタンのタイムピースは、部品が集まった単なる結集体としての価値を超えています。手書きのデッサン、幾何学的なデザイン画、そしてこれらを技術的に発展させ、形状、色、感触からなるひとつの世界が生まれます。巧妙な機構の複雑構造はデザインと融合し、緻密なディテールにより優美さが吹き込まれ、職人の巧みな技で感情を掻き立てます。メゾンが製造するタイムピースは、形状と数学の研究に基づきながらも、職人の才能を最大限に表現し、その魂のこもったエレガンスを

感じ取ることができます。「トラディショナル」のクラシシズム、「パトリモニー」のミニマリズム、「エジェリー」の気品さ、「オーヴァーシーズ」スポーティでシックな精神は、2024年のメゾンのテーマに沿って表現された芸術性という錬金術を見事に表現しています。



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

イーキン・インについて

ENSAD(パリの国立高等装飾美術学校)を卒業したイーキン・インは、2009年パリ市の創造グランプリを受賞、2011年にはANDAMのファーストコレクション賞(ファッションアートの発展を促進するパリANDAMファッション賞)を受賞し、パリのオートクチュールファッションウィークで初めてショーを行いました。イーキン・インは、レオナルド、カルティエ、ゲラン、エルメス、スワロフスキー、ランコムなどの高級メゾンとコラボレーションしています。

多岐にわたり活動している彼女は、他の芸術分野でも探究をしています。彫刻家バステアン・カレと協力しドレスを創作し、光と素材を融合させました。ジョルジョ・マンチーニが指揮したトリスタンとイゾルデの中で、エトワール バレエダンサーのドロテ・ジルベールとマチュー・ガニオが演じた場面の衣装もデザインしました。

イーキン・インは、ストックホルム民族学博物館のA world of Feathers (羽の世界)やフィレンツェのAnimalia Fashion(動物からインスパイアされたファッション)など世界中の芸術展示会からも頻りに協力を求められます。彼女は、レオス・カラックス監督のアネット(2020年)でマリオン・コティヤールがまとったドレスをデザインし、多様な映画の衣装創作にも貢献しています。2023年からイーキン・インは、2024年末に予定されるフランス文化省のMondes Nouveaux (新しい世界)のプログラムの枠組みで将来の人類学と考古学を探究し、近未来的な作品の創作に注力しています。


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

ドミニク・ロピオンについて

ドミニク・ロピオンは、同業の調香師たちの中では、並外れた才能の持ち主、さらに今日活動中の最も偉大な熟練調香師とも評されます。香りという言葉は、ドミニク・ロピオンの情熱、真髓を揺り動かし、躍動源になっています。ドミニクが目指すのは、芸術的な観点から動物の嗅覚に肩を並べることです。ドミニクが初めて自由を感じることに誘い、彼の才能が発揮される心と体をひとつにする提案をします。ドミニクは、フレグランスの構成を直感的で数学的なものとみなし、多様な組み合わせを試す創作を行います。「2つの原材料を組み合わせ、それらの相互作用を感じ記憶する、その後ヨハン・ゼバスティアン・バッハのチェロ組曲のように3つ、4つと増やしていきます。調香師が作業している時は、蒸発を分や時間の単位で測り、時の流れのなかで香りがどのように変化するか、そして跡を残したかを観察するのです。」

ドミニク・ロピオンは、世界的な成功を収めた複数の香りも担当しました。彼は、パフューム、バイオサイエンス、健康、食品、飲料関連の産業の世界的なリーダーIFF社で働く熟練調香師です。IFF社の調香芸術師たちは60年に渡り、先見性と折衷性/多様性をもつ創作チームを築いて働いてきました。本社のあるニューヨーク、またパリ、グラス、サンパウロ、上海などで、IFF社の調香芸術師たちは嗅覚で感じ取れる、国際的な成功を収める、または極秘の作品を創作しています。


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

技術データ エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

キャリバー・ナンバー	1088 L ヴァシュロン・コンスタンタン自社開発・製造 機械式自動巻き 直径30MM (9 ") X 厚さ5.03 MM パワーリザーブ約40時間 4 HZ (毎時2万8800回振動)
部品数	164
石数	26
表示	時分・センターセコンド ムーンフェイス
ケース	18K (5N) ピンクゴールド 直径37 MM X 厚さ10.08 MM 58個のラウンドカットダイヤモンドをセッティングしたベゼル ムーンストーンをセッティングしたリュウズ サファイアクリスタルのシースルーケースバック
文字盤	ライラック色のマザーオブパール、「プリーツ模様」 34個のラウンドカットダイヤモンドをセッティングした18K (5N) ピンクゴールドのリング 18Kゴールド製パール状のミニットトラック マザーオブパールの雲の背景に18Kゴールドの月
ストラップ/バックル	マザーオブパールの小片と香りのカプセルを入れ込み、シルク糸で施された芸術的な刺繍で飾られたカーフスキストラップ
ダイヤモンド合計	92個のダイヤモンド、総重量約1.10 CT(最低保証カラット数)
販売をしないユニークピース	



エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ) エジェリー・ムーンフェイス


VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

紹介内容

エジェリー、ザ・プリーツ・オブ・タイム (コンセプトウォッチ)

エジェリー・ムーンフェイス

幾何学から芸術性へ

イーキン・インについて

ドミニク・ロピオンについて

技術データ

技術データ

エジェリー・ムーンフェイス

リファレンス・ナンバー	8005F/000R-H030
キャリバー・ナンバー	1088 L ヴァシュロン・コンスタンタン自社開発・製造 MÉCANIQUE À REMONTAGE AUTOMATIQUE 機械式自動巻き直径30MM (9 ^{'''}) X 厚さ5.03 MM パワーリザーブ約40時間 4 HZ (毎時2万8800回振動)
部品数	164
石数	26
表示	時分・センターセコンド ムーンフェイス
ケース	18K (5N) ピンクゴールド 直径37 MM X 厚さ10.08 MM 58個のラウンドカット・ダイヤモンドをセッティングしたベゼル ムーンストーンをセッティングしたリュウズ サファイアクリスタルのシースルーケースバック 防水機能3気圧 (約30M)
文字盤	ライラック色のマザーオパール、「プリーツ」模様 34個のラウンドカットダイヤモンドをセッティングした18K (5N) ピンクゴールドのリング 18Kゴールド製パール状のミニットトラック マザーオパールの雲の背景に、18Kゴールドの月 18K (5N) ピンクゴールド製のアプライドによるアラビア数字
ストラップ/バックル	3本の付け替え可能なストラップが付属： ライラック色のミシシッピアリゲーターレザー、パウダーピンクのグレイン仕上げカーフスキンレザー、ミッドナイトブルーのサテン仕上げカーフスキンレザー 各ストラップに18K (5N) ピンクゴールド製ピンバックルを装備
ダイヤモンド合計	92個のダイヤモンド、総重量約1.10 CT (最低保証カラット数)
	100本限定、個別シリアルナンバーを刻印



1755年に創業したヴァシュロン・コンスタンタンは、270年近く一度も途切れることなく時計製造を続ける世界最古のマニュファクチュールであり、卓越した時計製造と洗練されたスタイルを何世代にもわたり熟練の職人により継承し、輝かしい遺産を守り続けてきました。

メゾンが製造する時計は、控えめで気品豊かなスタイルに高級時計の素晴らしい価値が体现され、その一つ一つに、最高峰の職人技と極めて高度な仕上げを施し、ヴァシュロン・コンスタンタンならではの技法や美意識が表現されています。

ヴァシュロン・コンスタンタンは、そのコレクションを通じて、比類ない伝統と革新の精神を実現しています。「メティエ・ダール」、「パトリモニー」、「トラディショナル」、「オーヴァーシーズ」、「フィフティーシックス」、「ヒストリーク」、「エジェリー」はメゾンを代表するコレクションです。

さらにメゾンでは、時計に精通した時計愛好家のために「レ・コレクショナー」のヴィンテージウォッチや、「レ・キャビノティエ」部門を通じてユニークピースを提案する貴重な機会を提供しています。

#VacheronConstantin

#OneOfNotMany



VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

ONE OF
NOT MANY.

